

「仲津小だより」

校長 森謙二

なかよし集会

12月4日から10日は人権週間でした。この時期に日本中で人権について考え、人権意識を高めるために様々な行事が実施されています。

12月13日に仲津小学校でもなかよし集会をしました。集会スローガンは「みんなが笑顔で仲良く、友達の輪を広げよう」でした。

一年生から六年生まで、「人権を大切にしなければならぬ」という思いがしっかり伝わるアピールでした。



〈人権週間とは〉

1948年（昭和23年）12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択されたのを記念し、1950年（昭和25年）の国連総会で12月10日を人権デーと定めるとともに、全ての加盟国に実施を呼びかけました。

日本では世界人権宣言採択の翌年の1949年（昭和24年）、法務省と全国人権擁護委員連合会が、12月4～10日までの一週間を「人権週間」と決めました。

12月10日は、日本だけでなく世界の色々なところでも「人権」について考える日になってます。

「人権」とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことです。人は、みな生まれたときから「自分らしく生きて良いですよ」とされてます。

人間は一人ひとりみな違いがあります。一人ひとりの違いを認め、自分や他の人の良いところを見つけて、それぞれが大切な存在であることを知る、大切な一週間です。

冬休みが始まります

子ども達は今週末から冬休みに入ります。

今年は祝日と曜日の並びの関係で、12月22日から1月6日までの16日間が休みになります。

学校では、冬休みの意義と目的を、次のように考えています。

年末年始は、家庭内の仕事や地域の行事が多く、児童にとって、家族の一員としての自覚を深めたり生活経験を広げたりする絶好の機会です。また、家族団らんの場で、この一年をふり返らせたり、新年の決意や希望等を話し合わせたりするよい機会でもあります。

学校では、子ども達が安全に充実した冬休みを過ごせるよう、休み中の暮らし方についての指導を各学級ごとに行います。（詳細につきましては“冬休みのしおり・学年学級通信”をご覧ください。）

つきましては、ご家庭におかれましても子ども達が地域行事等に進んで参加し、充実した経験を積むとともに、保健衛生や健康増進に努め、事故防止・非行防止等に留意し、冬休みが心身ともに成長する機会になりますよう、ご支援・ご協力をお願いします。

1月7日（月）には、全校児童が元気に登校してくれることを願っています。